

第4期中期目標期間における内部統制・ガバナンス強化の取組について

1. 評定の推移

| | 第3期 | 第4期 | | | | |
|------|-----|-------|------|------|----------|----------|
| | | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | (見込) |
| 内部統制 | B | B | B | B | <u>B</u> | <u>B</u> |
| 法人全体 | C | B | A | B | <u>A</u> | <u>A</u> |

2. 第4期中期目標期間見込評価における内部統制に関する評価コメント

- ・ 内部統制に関する研修を実施し、内部統制の重要性について浸透を図った結果、職員意識調査で内部統制の「意識度」が毎年85%以上と高水準を維持していること。
- ・ 内部統制・ガバナンス強化を確固たるものにするため、コンプライアンス及び業務効率化を念頭に内部統制アクションプランを作成し、取組内容の強化・充実を図っていること。

3. 内部統制・ガバナンス強化に向けて実施した主な取組

(1) 第3期から継続して実施しているもの

- ① 内部統制に関する委員会（内部統制委員会・リスク管理委員会・コンプライアンス委員会）を定期的に開催
- ② 組織の風通しを良くするために「理事長と職員との意見交換会」等を開催
- ③ 業務運営に係る経営方針を明確化するため、理事長による全職員に向けた「年度方針説明会」の開催
- ④ 内部統制の推進状況や課題把握等を目的とした「職員意識調査」を実施
- ⑤ 職員の内部統制に関する基礎的な知識の習得と意識向上を目的とした「内部統制研修」を実施
- ⑥ 契約手続等の適正な実施に関する定期的な注意喚起及び周知徹底

(2) 令和4年度から新たに取り組んだもの

- ① 「日本スポーツ振興センターコンプライアンス週間」の実施をウェブサイトで公表し、契機となった過去の事案を再度組織内で共有
- ② 不適正な契約手続の再発防止のため、「契約手続事前チェック体制」を整備